

小国町国内研修

2月15日～2月16日に山形県小国町に訪問させていただきました。

小国町は山形県の西南端に位置していて新潟県との県境に位置しています。小国町にはブナの森をはじめとして町全体を覆いつくすように落葉広葉樹林が広がっています。冬には全国有数の豪雪地帯になります。

2日間の間に役場の庁舎案内、町内案内、町長との面会、町づくりの説明、地域の食文化体験、地域おこし協力隊や緑のふるさと協力隊の活動説明、このようにたくさんの体験説明をさせていただきました。

初日の最初には役場庁舎案内をさせていただきました。二階玄関で町民税務課、会計室があります。広いロビーがあり100人以上の人が入ることができピアノの発表会などにも使われます。三階には産業振興課、地域整備課、総務企画課、副町長室、町長室があります。普通は見られない町長室を特別に見せていただくことができました。四階には大会議室、議場、議会事務局があります。役場の駐車場の下には駐車場に雪が積もらなくなるように温泉が通っています。役場の案内の後に車で町内を案内してもらいました。最初に道の駅に連れて行ってもらいました。道の駅のすぐ裏にはオリンピックのハーフパイプで銀メダルを獲得した平野歩夢選手が子供のころから使っている横根スキー場もあります。次に小国小学校に行きました。小国小学校は小国中学校と校舎が繋がっていて行き来できるようになっています。生徒たちは学校にいつもバスで通学しています。小学校が合併したために家がとても遠い生徒もいます。東京の小学校と違い乾燥室が置いてありました。大雪の中通学してくる生徒の上着や靴などを全部おけるぐらいの広さでした。東京ではないのでとても驚きました。また小国町ではとても英語に力を入れていて1回の授業で先生が3人もいて英語で授業をするという形にしているとても素晴らしいと感じました。次に開発総合センターというところに行きました。総合センターには集会室、研修室、会議室、茶室、保健相談室、交流室、温泉、たくさんあります。しかし、高齢者の方利用が多いようでバリアフリーがしっかりしていないことが問題視されています。建物も古くなっているので高齢者の方の要望を聞き立て直しの計画をたてているそうです。次には小国町健康管理センターにいきました。中には入れなかったのですが、お話を聞けました。町内案内の後に町長との面会をしました。町長はとても気さくな方で小国町の訪問をとても喜んでくださいました。たくさんのお話をしてもらえました。一番驚いたのがクアーズテックという大企業が小国町にあることです。小国町は半導体部分を作っていて世界でそれが使われていると聞き本当に驚きました。町長との面会というとても貴重な時間をいただい

とてもうれしく思いました。初日はこれで終わり宿舎に行きました。リフレというとてもきれいな旅館に泊まることができ小国の魅力をたくさん感じることができました。

2日目の最初は私たちと同じで小国町に訪問しに来ていた早稲田大学の人たちと一緒に地域の食文化体験をしました。何個か班に分かれて料理をしました。自分は豚汁を作りました。全く料理をしたことがなかったのでとてもよい経験にもなりました。他にもいろいろな料理を作らせていただきました。特にきくらげを豆腐で味付けする料理が良かったです。おかずを作った後は全員でお赤飯とごはんでおにぎりをつくりおもちゃを作りました。地域のおばさんたちはとてもやさしくて、たくさん作ってくれました。小国の人たちのやさしさを身にしみて感じました。地域の人たちと役場の人たちと早稲田大学の人たちみんなで作った料理をお互いに話しながら食べました。早稲田の人の話を聞いたのですがとてもびっくりしました。四年生の方がいたのですが、何度も小国町を訪れていて小国町について多くのことを詳しく知っていました。小国町にとっても愛情を持っていて素晴らしいなと感じました。ご飯をたくさん食べた後に、廃校になった幼稚園を高齢者の方の集まりの場として使用しているところに行きました。そこには緑のふるさと協力隊として活動している人がいました。その人からたくさんのお話を聞くことができました。高齢者の方の集まりの場として使おうにも少し家が遠い人などは来なかったりあまり人と関わることが好きではない人は来なかったりと、問題点が多々あることを聞きましたその問題を解決するために輪投げの大会を開催したり、卓球台を置いたり、幼稚園に通っていた子供たちのアルバムを置いたりして対策していると聞きました。しっている子の写真などで盛り上がりそうです。ここで活動している方に緑のふるさと協力隊と地域おこし協力隊についての話を聞かせてもらいました。緑のふるさと協力隊は行きたい地域を第三希望まで出しますしかし実際のところはほとんどの確率で第一希望のところに行けないのです。希望ではないところに行かせてとてもくろうさせてその人を成長させるのが狙いだということ聞いて厳しい世界だなと思いました。その反面、とても成長できるなとも思いました。地域おこし協力隊も活動はあまり変わらないのですが、給料をもらうかもらわないかというとても大きな違いがあります。まずは緑のふるさと協力隊として活動するのがいいとアドバイスをもらいました。

私は小国町を訪問してたくさんのことを学びました。私は海外について興味があるのですが町長が小国町にベトナム人に何人か働いてもらっていて海外からの人をもっと受け入れたいと言ってとても良いことだなと思いました。今日本では海外の人の労働力を必要としていて、自分の親の職場にもベトナムの方がいます。そういう中で海外を重視している町長の考え方にとっても同感しました。海外に行かなくても地方に海外の人が来てくれるおかげで日本でも海外の人と交流できるようになり、自分が興味を持っていることが身近になるのでこれからもっと受け入れなどを増やしてほしいなと思いました。

私は東京で生まれて育ったので、地方のことは全く知りませんでした。自然などもほとんどないために全く良さを知りませんでした。小国町に行って自分は何にも知らずに生きて

きたのかと驚愕しました。木々が生い茂っていて空気もきれいで、雪も4、5メートルまで積もっていて、全く別の世界に来たような感覚になりました。また研修に行った際に小国町出身の友達もいたのですが、行く所々でその友達が親せきや友達と会っているのを見てとても地域の人たちのつながりが強いのだなと思いとてもうらやましく感じました。東京でマンションに住んでいるのですがマンションの人はおろか隣の人まで面識がないというのが当たり前だと考えていたので、考えがとても覆されました。晴れの日雪景色はまだ忘れられません。とてもきれいでした。小国町の国内研修でこんなにも考えが変わりたくさんのことがしれるとはいく前までは思いもしませんでした。実際に行ってみたりやってみたりして初めて気づきました。友達や先生とともに学びに行くこともとても大切だと感じました。それぞれ考え方が違う人が意見などをだしあい深めていくたくさんの大切なことが学べた国内研修でした。また小国町にも訪問させていただきたいです。また違う地方の町などに行き今回とはまた違った環境などで感性を磨き自分を高めていきたいと考えています。